

全自動尿中有形成分分析装置

調達部品の備えるべき要件

1.全自動尿中有形成分分析装置に関しては、以下の要件を満たしていること。

1-1 全自動尿中有形成分分析装置は、以下の要件を満たすこと。

1-1-1 遠心分離等の前処理をせず測定可能であること。

1-1-2 測定原理は青色半導体レーザー光源のフローサイトメトリー法を採用しており、定量的なデータが得られること。

1-1-3 測定項目として、赤血球、白血球、上皮細胞、円柱、細菌、扁平上皮細胞の6項目の定量値表示が可能であること。

1-1-4 測定項目として、白血球凝集、非扁平上皮細胞、硝子円柱、非硝子円柱、結晶、酵母様真菌、精子、粘液糸の8項目の半定量値表示が可能であること。

1-1-5 10,000 検体の記憶容量があること。

1-1-6 研究項目として赤血球形態情報、尿路感染症フラグ、細菌グラム染色情報、異型細胞の表示が可能であること。

1-1-7 体液測定モードを有していること。

1-1-8 測定結果はタッチパネルに表示され、ホストコンピューターに出力できること。

1-1-9 尿検体の1時間あたりの処理能力は、100テスト以上の処理能力を有すること。

1-1-10 所要検体量（試験管中の検体量）は、サンプラー測定時 2ml 以下、STAT 測定時は 0.6ml 以下で測定が可能であること。

1-1-11 測定オーダー機能として、検体IDによるオーダー問い合わせに対応していること。

1-1-12 精度管理機能を有し、精度管理ファイル、精度管理チャート図を精度管理物質についてロットごとに管理が可能であること。

1-1-13 試薬に RFID タグが付いており、試薬情報の管理が容易であること。

1-1-14 オンライン QC 機能を有し、精度管理情報やエラーログ情報を、専用回線を通じて自動転送できること。

1-1-15 日々のメンテナンスは容易であること。

以上